

世田谷介護ネットニュース

第3号

発行日：平成 19 年 11 月 21 日
発行：世田谷区介護サービスネットワーク
事務局：世田谷区社会福祉事業団
連絡先：東京都世田谷区世田谷 1-23-2
電話：(03)5450-8575

第2回全体会が開催されました

世田谷区介護サービスネットワーク第2回全体会が9月13日に世田谷区民会館集會室で開催されました。

今回は第1回全体会で十分に議論できなかった介護サービスを提供する上での課題を徹底討論することを目的としました。区からの情報提供のあと、事前に各事業所から寄せられた介護保険制度に関する質問や悩みをもとに、「同居家族がいる場合の生活援助」、「通院介助・外出介助」、「ケアマネジャーとの連携」、「予防介護と自立支援」、「人材育成」、「その他」のテーマ別グループディスカッションを行いました。どのグループでも介護の現場に即した活発な議論が行われました。

今回の全体会では、テーマごとに参加者や所属事業所の工夫などの情報交換ができましたが、介護サービスとしてできるかできないか明確でないグレーゾーンや介護予防サービスの困難さが議論の焦点になりました。また、「連携」に関

しては、医療との連携が今後の課題として明らかになりました。介護現場の人材不足が大きな問題であり、人材確保とサービスの質向上を同時に行うには、介護報酬の引き上げが必要との意見が多く出されました。

介護保険のできるサービスの解釈がしだいに狭まる中で各事業所が苦勞していることが明らかになった全体会でしたが、コンプライアンスを確保しながらも利用者本位のサービスを確保することが最大の課題として認識された有意義な全体会でした。



「おまかせください」
計画調整課 大塚係長作

リレー随想

有限会社介護けやき 武井昭

最近読んだ本に「幸福な偶然」にたくさん出会う方というのがあった。荒木ひとみさんが書かれた本で「幸福な偶然とは、一般的には科学者などが新しい発明や発見した瞬間のことをいう。この「幸福な偶然」は、普通の人、誰でもめぐりあえるもので、ただそれに気づかなかっただけだという。

幸福な偶然に出会った人のことを「セレンディピティな人」と呼ぶ。X線を発見したレントゲンもセレンディピティな人でした。

聖路加国際病院・聖路加看護大学の日野原重明先生の本にも同じような内容のものがあり、「セレンディピティ」は誰もが出会えるものだとして述べている。毎日の生活の中で嬉しい

こと、楽しいことながたくさんあって欲しい。しかし、現実には悲観的でどうしようもないときも一杯ある。そんなときにも「幸福な偶然」が訪れるとこの本に書かれている。

よく「良いことを思っていればよいことが起こり、悪いことを思っていると悪いことが起こる」と心理学者などが述べているが、意識してよい方向にいくと信じていた方がどうも得なような気がする。

そのような人を別名「おめでたい人」とも言うが、おめでたい人であってもあってもいいと思う。

介護の仕事にもきっとそんな日が来るに違いない。

今回はライフサポートやすらぎの宮川英子さんにおねがいします。

世田谷区介護サービスネットワーク入会のご案内

入会資格：世田谷区民に介護サービスを提供する介護保険事業者（正会員）又は関連サービスを提供する事業者（準会員）

新規ご入会の場合	入会金 5,000 円
（正会員 準会員とも）	年会費 5,000 円
継続の場合	年会費 5,000 円

詳しい問い合わせは、世田谷区社会福祉事業団人材育成・研修センターまで。電話：03(5450)8575、FAX：03(5450)8237

ホームページ： www.setagayaj.or.jp/sknet.htm

入会のメリット

- 1) 事業所間の情報交換・共有ができます。
 - 2) これからの介護事業所間連携を深める上で必要な「顔の見える関係」をつくることができます。
 - 3) 行政からの情報をいち早く入手できます。
 - 4) 現場に即した各種研修や職員を安価に派遣できます。などなど
- 会員数：236（平成19年11月20日現在）

連載

認知症になっても『人として生きる』ために(2)

グループホームかたらい副ホーム長 市川裕太

私たち専門職が行っているのは、認知症の人の「生活」の支援です。

私はいつも思います。生活を支えることは、生きることを支えること。決して人を「生かす」ために行っているのではないということ。だからこそ「人」として「生きること」を常に考えなければならないこと。

私たちは見た目や「認知症」という状態に惑わされてしまうことがあります。

例えば、自分の意思を表示できない人に対して、まるで穴に物を入れるかのように黙々と食事介助をする。あるいは、

意思表示ができるにも関わらず、あの人は「認知症」だから正しい判断ができないと思い込み、介護者の都合で物事を決めてしまったりする。

普段の生活の中で、つい忘れがちになってはいないでしょうか。人に迷惑をかけるような行動や症状は、その人がやり



たくて行っているのではなく、「認知症」という病気が起こしているという事実を。そして、この事実を放念してしまったが故に、いつの間にかその人自身の判断で行っているように思ってしまうたり、その人自身の存在を否定するような行動をとっていないでしょうか。



「認知症」であっても自分の意思を表示したり、行動に移すことはできます。たとえ意思表示ができなくても、耳は聞こえます、目は見えます。「認知症」という状態になっても「人」であること、そして「人」としての権利は何も変わらないのです。

「人」として生きることを支えるためにまず考えなければならないことは、私たちが目の前にいる認知症の人に対してどのような関わり方をしているのかだと思います。それは時間や忙しさ、サービス内容などではなく、私たちが「認知症」という状態をどのように捉えているのかだと、私は思います。

まずは自分の関わっている姿をもう一度振り返ってみてはどうでしょうか。

この人とこの活動(第2回)

トラベルヘルパーをご存知ですか？

晴天の日曜日、日の丸の旗に送られて、笑顔で出発。行く先は巣鴨。

くも膜下のため、半身麻痺になり「せめて、冥土のみやげに毎日、通勤していた小田急線で新宿まで、最後にいつてみたい・・・」というご希望をかなえて差し上げたのがきっかけです。今度は巣鴨に行き「元気になりたいとお願いしたい」と電車を利用して車椅子で巣鴨に。お昼のお寿司をペロりと平らげ、お土産は大福50個。次は湯島天神、と夢は膨らみます。

お供するのは、トラベルヘルパーさん。経験豊かな介護福祉士です。安全には万全を期し、現地での実習研修をしていたおかげで、車椅子で入れるトイレの場所も確認済みで、安心。あきらめないで、旅をする楽しさを、再び味わっていただけるよう、あ・え・るクラブさんは全国ネットに広げたいと話されていますが、バリアフリーといってもまだまだ、エレベーターのない駅もたくさんあり、場所がわかりづらいことが多く不便です。一番困るのがトイレです。車椅子対応のトイレが少ない。新宿に行ったときは、地元まで戻り、トイレに入ったそうです。

生き生き元氣な笑顔を見せてくれるのは徳島県内の寺。23カ所をめぐる7日間のツアー「バリアフリー八十八ヶ

所礼状巡拝・心の旅」もあり、留守を預かるご家族が安心なように、毎日、インターネットで旅行の様子をUPしているそうです。

そして、四国の巡拝に毎回、トラベルヘルパーとして同行しているのは世田谷区「介護予防のための”楽しい元氣の出る体操”」でおなじみの佐野公美子氏です。



人物紹介

佐野公美子さん。介護福祉士、健康運動指導士、ADL対応型高齢者体操上級公認指導者です。介護ネットの研修グループでも毎年、「目で見える自立支援ADL体操」を実施していただき、座ったままでも出来る、自立に向け自然にやれるということで好評です。

“楽しい、楽しい元氣が出る体操”を通じて、おじいちゃんおばあちゃんの笑顔と元氣を引き出したいと、生き生きした瞳で語る、佐野氏は、さらに、バリアフリー旅行のサポーターとして旅をあきらめている人に元氣を引き出し、自身とやる氣を引き出したい。そして、次代の介護を担う人材にアクティブな介護技術を伝えたいと、日々がんばっています。何より、佐野さんの笑顔が素敵です。

あ・え・るクラブのホームページ

<http://www.aelclub.com/company/ael.html>

世田谷区からのお知らせ



1 介護保険のホームページについて

世田谷区公式ホームページ (<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/>) から、生活ガイドの **福祉・健康** **介護保険** でご覧いただけます。

2 福祉用具使用の際の重大製品事故発生に関する注意喚起のお願いについて

厚生労働省老健局から、標記の注意喚起が行われております。歩行補助車、階段移動用リフト、車いす、手すり等の福祉用具について、製品名と事故内容等が示されていますので、ご確認をお願いいたします。介護保険のホームページから、**事業者の方向け情報** でご覧いただけます。

3 世田谷区介護保険 F A X 情報便の配信登録を受け付けています

区内の介護保険事業所・施設を対象に、定期的に介護保険に関する情報を F A X 又は電子メールでお届けします。登録が必要です。詳しくは、介護保険のホームページから、

事業者の方向け情報 **世田谷区介護保険 F A X 情報便** **F A X 情報便登録方法** をご覧ください。

4 地域密着型サービスの指定について

次の2事業所を区内地域密着型サービス事業所として指定しました。

平成19年10月1日指定

事業所の名称 デイサービスやまぼうし
サービスの種類 共用型認知症対応型通所介護
所在地 世田谷区玉川4-13-7-101
申請者 社会福祉法人大三島育徳会
利用定員 3名



平成19年11月1日指定

事業所の名称 ニチイのほほえみ用賀
サービスの種類 認知症対応型共同生活介護
介護予防認知症対応型共同生活介護
所在地 世田谷区用賀3-9-12
申請者 株式会社ニチイのほほえみ
利用定員 2ユニット18名
その他 コムスのほほえみ用賀の事業譲渡に伴う指定

5 「訪問介護計画作成ハンドブック」

(財)長寿社会開発センターが「訪問介護従事者間における職域と職能に関する実態調査研究報告書」「訪問介護計画作成ハンドブック」「介護保険手帳」を作成した。

この研究は、医療情報を適切に活用することにより訪問介護の質は向上するという考え方のもとに、医療・看護職とともに担う介護を、訪問介護計画の作成を通し実現しようとしている。「訪問介護計画作成ハンドブック」においては、訪問介護を利

用依頼からサービス提供までどのような業務の流れで行っているのか確認し、受付票・利用者基本情報シート・アセスメントシート・訪問介護計画等各様式の役割を理解し、様式を使って書いてみよう、記入事例が記載されている。この報告書は、世田谷区の介護保険課で閲覧できます。

お問い合わせ:(財)長寿社会開発センター:電話03-5470-6751

6 「介護保険事故報告書」の様式が変わります。

介護サービスの提供により事故が発生した場合は、各介護サービスの運営基準に定められているとおり、区市町村への速やかな報告が必要です。世田谷区においても、世田谷区介護保険事故報告取扱要領に基づき、所定の様式により報告をいただいております。

このたび、東京都からの通知等に基づき、事故報告書の様式を一部改正することになりました。改正内容は、住所地特例により入所されている方の保険者名が確実に把握できるよう「保険者名」の欄の追加など数箇所です。

新しい報告書の様式は、12月中旬に区のホームページ(トップページ>福祉・健康>介護保険>介護保険事故報告書)より取

扱要領と併せてダウンロードできます。

なお、独自の様式で事故報告書を提出する報告書の提出が事故発生時から著しく遅れるというケースもまだ見受けられますので、事故発生時には、所定の様式により速やかな報告書の提出をお願いいたします。

問い合わせ先:

介護予防担当部地域福祉支援課 電話:5432-2605

事故報告書の提出は利用者の住所地を管轄する総合支所保健福祉課(利用者の住所地が区外の場合は、事業者の所在地を管轄する保健福祉課)をお願いいたします。

通所連絡会の研修報告

去る11月13日(火)通所連絡会主催による「デイサービスにおける認知症ケア」研修が行われました。浴風会病院精神科の古田伸夫医師をお招きして、認知症の医学的理解を深めるとともに、問題行動や対応に困ったときの対処方法について学びました。当日は、デイサービス従事者を中心に63名が参加し、通所連絡

会始まって以来の多数の参加となりました。

参加者からの質問に先生が答える形式でしたが、認知症の医学的な基本事項から、アリセプトを中心とした薬の効果・効能や、最新の薬の認可状況など、ケアの現場に活かせる医学的な知識を、大変わかりやすく講義していただき、大変有意義な研修会となりました。

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの研修】

- 1 感染症研修 「ダニ、ノミ、ネズミの対策(仮題)」
平成20年1月22日(火)
- 2 明日から役立つヘルパー研修
「電気器具を使った調理法(仮題)」
平成20年3月19日(火)

【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修】

- 1 介護・看護発掘セミナー「逆さの視点～死から生を見る」
11月30日(金)18:30～20:00
玉川区民会館ホール
- 2 経営セミナー「雇用管理の基本を学ぶ」
12月12日(水)18:30～20:30
- 3 中堅職員研修「グループリーダーの役割とマネジメントを基本から学ぶ」
平成20年1月15日(火)9:00～17:00
- 4 介護福祉士受験対策直前講座

平成20年1月12日(土)13日(日)

5 介護福祉士受験対策実技講座

平成20年2月9日(土)10日(日)

印の問い合わせ先は

世田谷区福祉人材育成・研修センター 電話:5450-8575

【総合福祉センター研修】

講演会「高齢者の口腔ケア」

12月7日(木)13:30-14:30

問い合わせ先:総合福祉センター「たすけっと」:5355-3451

【世田谷区の研修】

- 1「ご存じですか?在宅サービスを支える介護保険サービス」
12月25日(金)19:00～20:30
問い合わせ先:高齢施策推進課事業担当:5432-2412
- 2「うつと職場復帰～職場はどう対応する」
平成20年1月25日(金)19:00～20:30
問い合わせ先:世田谷総合支所健康づくり課:5432-2893

介護食豆知識(第2回)

「簡単調理法」

総合福祉ツクイ世田谷 波木直道

前回の簡単調理法基礎知識を少し補足します。

ポリ袋は水素と炭素で出来ており、安全性は問題ありません。また電気ポットにて熱を加えても100度前後の熱ではポリの成分が溶け出したりしませんし万が一溶け出しても成分は炭素と水素ですので体に害を及ぼすような心配はありません。ただし油が加わると高温になるので油を多く使用する調理は避けること。(ポリ袋のサイズは20センチ×30センチのものを使用)食品包装用。高密度ポリエチレン製。無地。電気ポットは容量にあわせて三分の一の水を入れる。一台のポットに入れるパックは3ヶまでとする。沸騰し続けたらいったんプラグを抜き再度電源を入れ直し98度の保温で安定するまで必ず確認すること。ポリ袋の空気はしっかり抜くこと。ポリ袋は根元で結ばず口のほうでしっかり結ぶ。袋の中身は出来るだけ均一に平らに5センチ未満に広げること。味見ができないのでレシピを参考にきちんと計量すること。

では今回はダイエットに最適な、しかもとてもおいしい、玄米のカレーライス(1人前)をご紹介します。

材料の玄米の処理は玄米60gを洗いポリ袋の中へ。(全体が150gになるよう水を加え空気を抜いてパックッキング(1時間以上浸水させた後加熱)材料:豚こま切れ肉50g、



ジャガイモ50g、玉ねぎ30g、カレールー20g、水60cc以上の材料をポリ袋に入れてパックッキング(空気を抜く)。先に玄米を電気ポットにしかけ、20分たつたところにカレーの袋をポットに入れさらに40分たつたところでご飯ができ上がったところでご飯とカレーを取り出して皿に盛り完成です。

付け合せメニュー- りんごのワイン煮:りんご100g、赤ワイン大さじ2杯、でんぷん糖15g りんごは皮をむき、くし形に切り鍋に入れワインを加え火にかけて煮立ったら紙ぶたをし弱火で20分くらい煮る。仕上げにでんぷん糖(低甘味糖類1袋13gエネルギー50カロリー-)を加えさっと煮立てそのまま鍋止めにてさまし汁につけたまま冷蔵庫似て冷やし完成です。(治療用特殊食品を使用したお料理です)参考まで。

編集後記

すっかり寒さが身に染むこのころ、お部屋の中の温度差にも注意して風邪を引かないように。(宮川)最近スーパーで安く焼き芋が売っているので、毎日食べてます。少し周りが大変みたい

です?!(鈴井)急に寒くなってきました。インフルエンザの予防接種はお済みですか?(辻本)急に寒くなり、湯たんぽを買いました。風邪にご注意。(念佛)

問い合わせ先

世田谷区社会福祉事業団人材育成・研修センター
電話:03(5450)8575、FAX:03(5450)8237